

ゴビンダ通信

No 31

発行：無実のゴビンダさんを支える会
事務局

Justice for Govinda

- Innocence Advocacy Group

September 26, 2007

18. Sep 2007.

支える会のみなさん、よこはま けいむしよのなから
こころをこめてマスターのゴあいさつをおくりませう。

みなさん、おげんきですか？

私はきのどくなゴビンダです。😊

ここのなつはかなりあつくてたいへんでした。
クーラとせんぷき^{うき}がないうさいなへやのなかで、
あつくてまったくねむれなかった、まいにちねがそく
ひがつついてましたよ。

私は日本にきてから14年いぞなりましたか、
このようになつとあつさ(なつ)のけいけんはなかつた。

しかし9月になつてからきさいいすましいくてらくに
なりました。10月12日にうんどうかいがあつた。しかし手あつたので
さうみかありません。

みなさんのあかけでここの4月に14年ぶりに、
私のこどもたち「ミイラちゃん-イリサちゃん」とめんかい
するこができてたいへんうれしくなりました。
みなさん、たいへんありがとうございました。

じぶんのおもいどあり、こどもたちがとつてもかしてい
りっぱななでした。ラダさん、ミイラちゃん、イリサちゃんとあえて、
とてもよかつたとおもつていたのに、とつぜんおとうさま
がなくなつたというしらせで、ほんとうにびっくりしま
した。私の仕合せのことはとつてなかつたしまいました。
日本のさいばんが、たたくおこなわれていれば、

私はおとうさまのそばに いることができたのに、
ざんねんでなりません。8月 きびしい あつさの なかで、
ヒャムバ-「Hember」で むとい どうせん「Copper Wire」
を たたく、 やりにくい、 むづかしい しごと はしました。
ひたり手 わるいので また かみあぐる にも もどりました。
むかしい がっこうで Valley ball やったとき ひたり手 の
ほねが おて しまって むづかしい しごと とする ことが できない
でした。「むづかしい しごと はしないと、 二るい にあがる、
ことが できない」という ことが いわれました。二るい よりも、
じぶんの からた-けんどうが いちはん たらいじな ことです。
みなさん、たいへんな ときは たすけて くれる ひとが じぶん
に うんで くれた リょうしん よりも へらい と おもいます。
みなさん、これから も ずっと がんばる、 あんかい など
つづけて 下さい、 あねが します。

よてはまけいむしよの きびしい かんきよの なかで、 これから
どんた と かんがえて せいがつするの か おかりません？

では

無実のゴビンタ、 フラサド、 マイリ。

よてはまけいむしよにて。

Spinning

18 Sep 2007

10月学習会のお知らせ

「裁判員制度 このまま始まっちゃってホントに大丈夫？」
~ビデオを見ながら、みんなで考えよう！みんなで突っ込み入れよう！

日時 10月21日(日曜) 午後1時開場 1時20分~5時50分(予定)

会場 SKプラザ(東京清掃労組会館)5階 中会議室

*詳細は、同封のチラシをご覧ください。

面会報告

9月20日、花島さんと面会に行ってきましたので報告いたします。

今回は2ヶ月振り3回目の訪問でした。夜6時からの銀座マリオン前での冤罪支援の街頭宣伝があったため、それに合わせて面会受付終了時間少し前の3時45分ごろに訪問しました。

遅い時間帯のためか、待合室には他の面会者もなくすんなりと面会室へ案内されました。客野さんから我々が行くことを知らされていたようで、ゴビンダさんにはにこやかに入室してきました。今は健康状態も良いらしく、皆さんによろしくとのことでした。

ただ、今年の夏は相当きつかった様で、熱帯夜の暑く眠れない日々が続きかなり参ったと言っていました。他の刑務所では熱中症で亡くなった受刑者がいることなど、ゴビンダさんの方から話題にしてみました。刑務所の劣悪な環境が窺い知れる思いでした。

今回の訪問が遅い時間帯であったため「ゴビンダさんにとって有り難い面会の時間帯は？」と聞いてみましたが、「面会自体が大変うれしく、一番の楽しみなのでどの時間帯でも構いません」との返答でした。この僅かな時間が、ゴビンダさんにとっては獄中生活での唯一の「よりどころ」となっていることを知らされました。

家族から4月に来日した時の写真が沢山送られてきたそうで、今はそれを楽しく眺めていると言っていました。写真には多くの支援者が写っているようで、支援者の方々への感謝を何度も口にしていました。また、娘さんの話になるとにこやかな顔を更に崩して、うれしそうでした。

「ネパールへは行ったことがありますか？」との質問に、まだ行ったことがないと言うと、「いいところだから是非一度、行ってみてください」と言われたので「ゴビンダさんが出所したら私と花島さんを案内してください」と、お願いしました。

我々の活動の近況報告をした際、先日の勉強会で話題になった事件当日の目撃証言の服装や、海浜幕張からの帰宅時間について尋ねてみました。するとこの時だけは険しい顔になり、証言にある服は所持していないこと、海浜幕張の職場からはいつも通りに電車に乗ったため、絶対に目撃時間には間に合わないことを、強く訴えていました。前回の面会でも言っていました。正しい判決が出ていればお父様の最期は看取れたのにと悔しそうでした。

ゴビンダさんは、我々が千葉から来たことも知っていて、海浜幕張のマハラジャの前に勤めていた新浦安駅構内にあるのインド料理店のことや、TDLへはその勤め先の人たちと3度ほど訪れたことなどを語ってくれました。

単調な生活の中で、来月中旬には所内で運動会が行われるそうで、今はそれが差し当たっての楽しみだそうです。

相変わらずの短い時間でしたが、健康そうなゴビンダさんに会えて面会の目的を達成した思いで帰路に着きました。

(原中)

街頭宣伝

毎月第3木曜日の夕方、有楽町マリオン前で街頭宣伝を行っています。
次回以降は、10月18日、11月15日、12月20日 午後6時～7時
終了後、楽しい交流会もあります。皆様のご参加をお待ちしています。

8月23日、夕方6時から、有楽町マリオン前で「無実のゴビンダさんを支える会」「無実の守大助さんを支援する首都圏の会」「布川事件 桜井昌司さん・杉山卓男さんを守る会」の3つの冤罪支援団体が合同で、第1回の街頭宣伝を行いました。

布川事件は、2005年9月21日に水戸地裁土浦支部で再審開始決定が出されたにも関わらず、検察の即時抗告により現在東京高裁で審理中です。38年も無罪の証拠を隠してきた検察が、再審開始をさらに遅らせることは、絶対に許せないことです。再審請求人本人の桜井昌司さんがマイクをとり、道行く人に訴えました。

「守大助さんを支援する首都圏の会」からは、控訴審での証人・証拠・鑑定請求を却下しての控訴棄却は裁判の名に値しない、何としても上告審で無罪を！という訴えが行われました。

「無実のゴビンダさんを支える会」からは、一審無罪判決を受けたゴビンダさんが不当な勾留によって10年以上、一度も自由になることもなく、無期刑に服しながら再審を求めてたたかっていることを訴えました。

志布志や富山など相次いで冤罪と警察・検察の杜撰な捜査・起訴が明らかになる中、道行く人の関心は高く、用意したチラシは40分程度で配布し終わりました。（今井）

高裁要請

10月18日 午後2時30分～3時 高裁要請を行います。

多くの署名を高裁に届けることができるよう、署名のご協力よろしくお願いたします。
要請に同行していただける方は、2時20分までに東京高裁正門前にお集まりください。

事務局からのお知らせ

現代人文社移転にともない、「支える会」の住所が以下のように変わりました。

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 ハッ橋ビル7階 現代人文社気付]

事務局会議：隔月第2火曜日 午後6時～8時 現代人文社：四谷駅下車徒歩8分
<次回は2007年11月13日(火)>

ゴビンダさんに激励の手紙を出してあげてください。日本語学習の成果により、平仮名、カタカナに加え、簡単な漢字なら読み書きできます。

[〒233-8501 横浜市港南区港南4-2-2 ゴビンダ・プラサド・マイナリ]

無実のゴビンダさんを支える会 事務局

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10 ハッ橋ビル7階 現代人文社気付 TEL：080-6550-4669

e-mail：govinda@jca.apc.org ホームページ <http://www.jca.apc.org/govinda>